

# セキュアなEメールクラウドゲートウェイ：ロンドンからフランクフルトへのデータセンターの移行

## 内容

---

---

## はじめに

このドキュメントでは、クラウドEメールセキュリティ(CES)がホストするデバイスのためにシステムがロンドンデータセンターを閉鎖した際のプロセスと影響について説明します。

## 説明

ロンドンからフランクフルトのデータセンターにサービスを移行するには、重要なインフラストラクチャ、アプリケーション、およびデータを2つの主要なヨーロッパのハブ間でシームレスに移行する必要があります。このプロセスでは、ビジネス運用の中断を最小限に抑え、ネットワークパフォーマンスを最適化し、データ常駐規制に準拠するように、慎重に計画する必要があります。サービスをフランクフルトに移転することで、組織は拡張性の向上、セキュリティ対策の強化、中央ヨーロッパの顧客へのアクセスを活用できます。移行には、移行時および移行後も効率性と信頼性を維持できるように、遅延、帯域幅の最適化、サービスレベル契約(SLA)に対する潜在的な影響などの重要な考慮事項も含まれます。

## 前提条件

- ロンドンのデータセンター内にあるCisco Secure Email Cloud Gatewayデバイス

## Cisco Secure Email Cloud Gatewayデバイスはロンドンデータセンターにありますか。

これは、次のようなさまざまな方法で確認できます。

- GatewayとEmail & Web Managerダッシュボードへのログインに使用するURLにc3s2があります
  - 例：<https://xxxxx.c3s2.iphmx.com>
- mxレコードにc3s2があります
  - 例：mx1.xxxx.c3s2.iphmx.com
- デバイスのホスト名に「c3s2」が含まれている
  - 例：esax.xxxxx.c3s2.iphmx.com

## 顧客への影響

今後の移行がサービスに影響を与えたり、お客様の側で何らかのアクションが必要になることはありません。当社のチームは、中断やデータ損失を予測することなく、プロセスがシームレスに進行することを保証することに尽力しています。お客様のIPアドレスと既存の構成は変更されず、運用の継続性が維持されます。また、移行スケジュールやその他の更新に関する通知も受け取るため、常に通知を受け取ることができます。シスコの優先事項は、この移行をできる限りスムーズで見えないようにすることです。

注意：アムステルダムの子カンパニーデータセンターは変更されず、変更されることはありません。

## 移行日

開始	完了
2025年1月	2025年3月

 注：移行日は暫定的なものです

## FAQ

1. 移行の影響を受けるのはロンドンのデータセンターアプライアンスだけですか。
  - a. はい。この移行の影響を受けるのは、ロンドンデータセンター内のアプライアンスのみです。
2. お客様には、移行固有の日付とタイム・スロットの割り当てに関する通知が送信されますか。
  - a. いいえ。移行は徐々にシームレスに行われます。影響は予想されません。
3. 移行後、アプライアンスは同じモデルになりますか？
  - A. あります。モデルのタイプは変更されません。
4. MXレコードは変更されますか。SPFを再設定する必要がありますか。
  - a. いいえ。MXレコードは変更されないため、SPFの再設定は必要ありません。
5. メールボックスへのVPNルートがありますが、移行後に影響がありますか。
  - a. いいえ、VPNには影響はありません。

## サポート

移行中または移行後に技術的な問題が発生した場合は、セキュア電子メールについてシスコカスタマーサポートにお問い合わせください。このメンテナンスまたは潜在的な影響に関する緊急のお問い合わせについては、Cisco TAC(<https://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>)までお問い合わせください。

## 関連情報

- [Cisco Secure Email Cloud Gatewayエンドユーザガイド](#)
- [Cisco Secure Email Gatewayエンドユーザガイド](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。